

資料3 家庭ごみ等有料化による手数料収入の用途

1. 札幌市

人口 (H22)	191万人	有料化開始時期	平成21年7月	方式	単純従量制
有料制対象ごみ	燃やせるごみ、もやせないごみ				
袋の価格	種類・価格 ※組単位で販売します。払い戻しはできませんので、ご注意ください				
	容量	5ℓ	10ℓ	20ℓ	40ℓ
販売価格	100円 (10枚1組)	200円 (10枚1組)	400円 (10枚1組)	400円 (5枚1組)	
減量効果	<p>●燃やせるごみ33%削減（導入前後の半年間で比較）</p> <p>Ⅱ 新ごみルール以降の収集ごみ量の推移（平成21年7月～平成22年4月）</p> <p>出典：札幌市資料</p> <p>※ 大型ごみ、地域清掃ごみ、管路ごみを除く。</p>				

◆5 平成21年度決算（見込み） 有料化手数料 約29億円の使いみち

約17億円	<p>● 新たな分別の開始と市民の取り組みの支援</p> <p>（うち約12億円）新たな収集・処理体制を構築するための経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 「雑がみ」の分別収集と資源化 「枝・葉・草」の分別収集と資源化 旧発寒第二清掃工場跡地にリサイクル保管庫を整備 生ごみ堆肥の使用法や利用先などの調査・研究 製品プラスチックの焼却に伴うダイオキシン類対策の実施 など <p>（うち約3億円）家庭ごみの発生・排出抑制や資源化促進のための経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団資源回収奨励金の増額 生ごみリサイクル・パートナーシップ収集の実施 電動生ごみ処理機などの購入費助成 厚別リユースプラザの運営管理 地区リサイクルセンターの運営管理 家庭用 廃食油の拠点回収支援 など <p>（うち約2億円）家庭ごみの分別が進むことにより増加する収集・選別のための経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 「容器包装プラスチック」の収集と資源化 「びん・缶・ペットボトル」の収集と資源化 など 	59%
約1億円	<p>● ごみステーション問題の改善や市民サービス向上のための経費</p> <p>さっぽろごみパト隊による監視パトロール、排出指導の実施</p> <p>ごみステーション数の増加に伴う収集経費の増加 など</p>	3%
約2億円	<p>● 普及啓発・環境教育のための経費</p> <p>収集日カレンダー及びごみ分けガイドの全市帯配布</p> <p>各種啓発冊子の配布、啓発イベントの開催</p> <p>リサイクルプラザ宮の沢の運営管理</p> <p>ごみ減量・リサイクルに関する副教材の作成 など</p>	7%
約9億円	<p>● 家庭ごみ有料化を実施するための経費</p> <p>指定袋の製造、収納管理経費など</p>	31%

2. 京都市

人口 (H22)	147万人	有料化開始時期	平成18年10月	方式	単純従量制		
有料制対象ごみ	燃やすごみ、資源ごみ(缶・びん・ペットボトル)、プラスチック製容器包装						
袋の価格	指定袋1枚の価格と容量						
	種類	色	45L	30L	20L	10L	5L
	燃やすごみ	黄色半透明	45円	30円	20円	10円	5円
資源ごみ (缶・びん・ペットボトル)	無色透明	22円	15円	10円	5円	-	
		(プラスチック製容器包装)					
減量効果	●燃やすごみ(家庭ごみ) 17%削減(導入前後の1年間で比較)						
	1 家庭ごみ						
		10月～3月	4月～9月	合計			
	18年度～19年度	116,491t	119,524t	236,015t			
	17年度～18年度	136,461t	146,169t	282,630t			
	対前年度比	△14.6% (△19,970t)	△18.2% (△26,645t)	△16.5% (△46,615t)			
	※対前年度比：前年同月のごみ量との比較(以下同じ)						
	2 缶・びん・ペットボトル						
		10月～3月	4月～9月	合計			
	18年度～19年度	6,685t	7,484t	14,169t			
	17年度～18年度	8,438t	9,484t	17,922t			
	対前年度比	△20.8% (△1,753t)	△21.1% (△2,000t)	△20.9% (△3,753t)			
	出典：京都市資料						

平成21年度有料指定袋制の実施に伴う財源を活用する事業に係る決算内訳

項目	決算額
定期ごみ・資源ごみ処理手数料(A)	1,872,424
有料指定袋制導入必要経費(B)	731,144
財源活用額(A - B)	1,141,280

項目	主な事業内容	財源活用額
バイオマス利活用の推進(生ごみ等の分別収集による新たなエネルギー生成モデル実験)	家庭で発生するバイオマス資源(生ごみや雑紙等)を対象に、効率的なバイオガスの発生を可能とするためのモデル実証実験等	33,166
環境体験学習プログラム	市立小学校(2校)での環境学習や環境教育DVDの市内図書館への送付を実施	185
総合環境情報誌「京(みやこ)のごみ減量事典」	「キッチンと分けていますか?プラスチック製の『容器と包装』」の作成、配布等 【市民しんぶん区版のタブロイド判(平成22年2月号)】	9,042
ごみ減量推進会議の活動支援	2R型エコタウン構築事業など	39,200
京(みやこ)の環境みらい創生事業	「低炭素社会」「循環型社会」の構築に向けた先進的な取組を支援 助成件数:6件(20年度からの継続助成2件) 助成金額:29,420千円	31,736
各区環境パートナーシップ事業	市民団体等が区役所と協働して実施するごみ減量・リサイクルなどを目的とした取組の支援 助成件数:43件	10,356
不用品リサイクル情報案内システム運用	不用品となった家具等の再利用を促進するため、不用品リサイクル情報案内システム「いつでもフリーマ!!」を運用	3,469
3R共汗サポーター制度(仮称)の創設	環境ボランティア制度「みんなのエコナビゲーター(旧称3R共汗サポーター)」の運営 登録人数:31名	389
リユースびん(リターナブルびん)等の拠点回収	リユースびんの回収、運搬 21年度末現在回収拠点数:104拠点	20,735
廃食用油燃料化事業市民回収支援	21年度末現在回収拠点数:1,447拠点	32,564
コミュニティ回収制度	21年度末現在実施団体数:1,750団体	32,669
蛍光管拠点回収	蛍光管の回収、資源化 21年度末回収量:33,650kg	7,020

項目	割合
市民啓発	3%
市民活動支援	8%
リサイクル推進事業(拠点回収等)	41%
不法投棄対策	1%
再生可能エネルギー普及	6%
他局での活用事業	6%
京都市民環境ファンド積み立て	35%

項目	主な事業内容	財源活用額
電動式生ごみ処理機等購入助成	助成台数:生ごみ処理機 398台 コンポスト 63台	13,679
空き缶、空きびん、ペットボトルのリサイクルの推進	缶・びん・ペットボトルの資源ごみをリサイクルセンターで選別・再資源化処理	108,401
プラスチック製容器包装のリサイクルの推進	プラスチック製容器包装の中間処理(選別及び圧縮梱包等)	230,999
ごみ減量普及啓発等	ごみ減量、分別・リサイクルや適正排出に関する啓発 環境施設見学会の実施など	17,180
まちの美化活動への支援	防鳥用ネット貸与、ボランティア袋の配布など	7,125
不法投棄対策	不法投棄監視カメラ貸与制度の運用	5,554
太陽光発電普及促進事業	太陽光発電システム設置助成制度の創設 助成件数:431件	64,728
こどもエコライフチャレンジ推進事業	市立小学校の小学生を対象とした環境教育の実施	6,233
「DO YOU KYOTO?」プロジェクト47万人推進事業	毎月16日を「環境にいいことをする日」と定め、環境にやさしい取組を実施	4,798
他局での活用事業	学校エコ改修と環境教育事業(教育委員会)	5,565
	森の活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～(産業観光局)	50,631
	右京から考えるエコ交通～クルマとバス・地下鉄のかしこい使い方～(右京区)	566
	閑雑材を活用した道路附属物の整備(建設局)	6,939
京都市環境共生市民協働事業基金(京都市民環境ファンド)への積立	京都市民環境ファンドへの積立	398,351
合計		1,141,280

3. 仙台市

人口 (H22)	105万人	有料化開始時期	平成20年10月	方式	単純従量制		
有料制対象ごみ	家庭ごみ、プラスチック製容器包装						
袋の価格	「家庭ごみ」 指定袋のサイズと価格(ごみ処理手数料)			「プラスチック製容器包装」 指定袋のサイズと価格(ごみ処理手数料)			
	種類	容量	単価	販売額	種類	容量	単価
大	45リットル	40円	400円	大	45リットル	25円	250円
中	30リットル	27円	270円	中	30リットル	16円	160円
小	20リットル	18円	180円	小	15リットル	8円	80円
特小	10リットル	9円	90円				
※ 10枚を1セットで販売しています。(消費税込み)				※ 10枚を1セットで販売しています。(消費税込み)			
減量効果	●家庭ごみ18%削減(平成18年度と導入後の21年度の比較) 家庭ごみ排出量と組成の推移(平成18年度と21年度)						
	<p>家庭ごみが40,448トン減少!</p> <p>18年度: 225,280トン 21年度: 184,812トン</p> <p>出典: 仙台市資料</p>						

	20年度	21年度	
ごみ有料化関連費用 (指定袋製造・保管配送等)	674,960千円	333,515千円	23%
紙類定期回収事業	149,190千円	235,960千円	73%
生ごみ減量・リサイクル推進 (電気式生ごみ処理機等補助)	129,239千円	23,229千円	
集団資源回収事業 (実施団体奨励金, 紙類保管庫貸与等)	41,472千円	129,510千円	3%
缶・びん・ペットボトル等選別		504,000千円	
プラスチック製容器包装選別		166,266千円	0.5%
減量・リサイクル広報事業 (「資源とごみの分け方・出し方」作製等)		46,787千円	
不適正排出対策 (地域清掃ごみ袋配布等)		7,169千円	0.5%
その他の減量・リサイクル推進事業 (生ごみ地域循環型モデル事業支援, 紙類拠点回収等)		7,656千円	
計	994,861千円	1,454,092千円	100%

4. 新潟市

人口 (H22)	81万人	有料化開始時期	平成20年6月	方式	単純従量制												
有料制対象ごみ	燃やすごみ、燃やさないごみ																
袋の価格	<p>●指定袋1枚の料金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サイズ</th> <th>手数料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大(45リットル)</td> <td>45円</td> </tr> <tr> <td>中(30リットル)</td> <td>30円</td> </tr> <tr> <td>小(20リットル)</td> <td>20円</td> </tr> <tr> <td>極小(10リットル)</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>超極小(5リットル)</td> <td>5円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※10枚単位での販売となります</p>					サイズ	手数料	大(45リットル)	45円	中(30リットル)	30円	小(20リットル)	20円	極小(10リットル)	10円	超極小(5リットル)	5円
サイズ	手数料																
大(45リットル)	45円																
中(30リットル)	30円																
小(20リットル)	20円																
極小(10リットル)	10円																
超極小(5リットル)	5円																
減量効果	<p>●ごみ排出量30%削減（導入前後の11カ月の排出量の比較）</p> <table border="1"> <caption>ごみ排出量30%削減の比較</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>開始前 (万t)</th> <th>開始後 (万t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ごみ+資源</td> <td>208,154</td> <td>169,042</td> </tr> <tr> <td>資源</td> <td>27,566</td> <td>41,765</td> </tr> <tr> <td>ごみ</td> <td>180,588</td> <td>127,277</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：新潟市資料</p>					項目	開始前 (万t)	開始後 (万t)	ごみ+資源	208,154	169,042	資源	27,566	41,765	ごみ	180,588	127,277
項目	開始前 (万t)	開始後 (万t)															
ごみ+資源	208,154	169,042															
資源	27,566	41,765															
ごみ	180,588	127,277															

ごみ減量・資源化の推進へ ご協力ありがとうございます

新潟市は、家庭ごみ有料指定袋の収入で環境に優しいまちづくりを応援しています

平成21年度は、家庭ごみ有料指定袋などからの収入が8億8,564万円ありました。そのうち、ごみ袋の作製経費などを差引いた6億1,707万円で、下記のような自治・町内会の行うリサイクルへの取り組みや地域活動などを応援しました。

●古紙資源回収の支援

自治・町内会が行う集団資源回収などに奨励金を交付しました。また、市民からの持込による拠点での古紙回収を行いました。(2億3,471万円)

●ごみステーション設置などへの補助

自治・町内会の行うごみステーション・カラスネットの設置などに支援を行いました。(5,859万円)

●生ごみの減量・リサイクルを応援

生ごみをたい肥にするEMポカシ容器、コンポスト容器などの購入に対し助成を行いました。(420万円)

●地域コミュニティ活動への支援

地域で行う資源循環型社会形成などの推進を図る活動や、自治会等が取り組むごみ出し支援活動、地域清掃活動への支援を行いました。(4,477万円)

●新制度の周知、分別意識の向上と啓発

広報紙や分別カレンダーなどを活用して違反ごみ防止のための啓発・指導を行いました。(7,612万円)

●不法投棄・違反ごみ対策など

パトロールなどのごみの不法投棄・違反ごみ対策を行いました。また、腐天ぷら油の回収・再利用といったバイオマスの利活用事業、学校への環境教育・環境学習への支援などを行いました。(1億9,868万円)



5. 岡山市

人口 (H22)	71万人	有料化開始時期	平成21年2月	方式	単純従量制
有料制対象ごみ	可燃(焼却)ごみ、不燃(埋立)ごみ				

袋の価格

有料指定袋の種類と価格

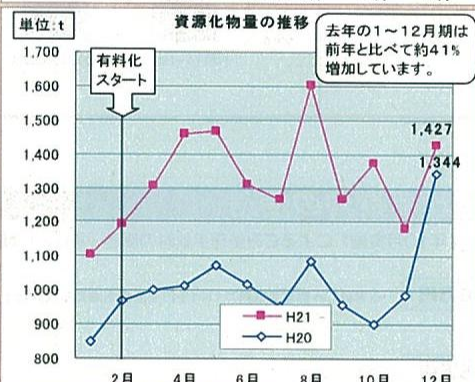
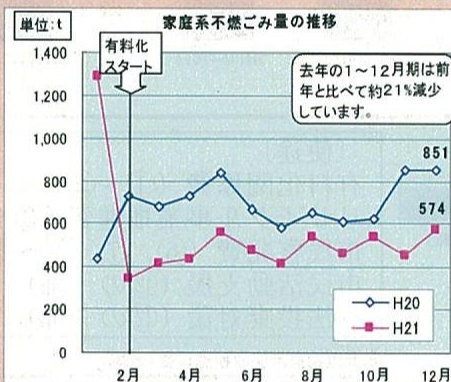
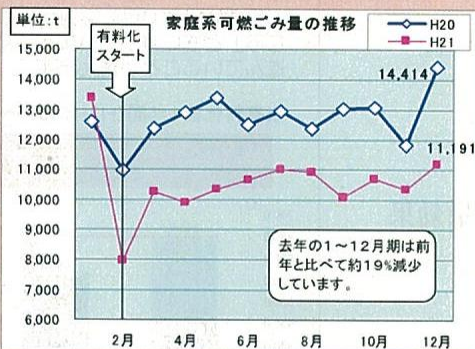
種類(可燃・不燃共通)	価格(袋1枚当たり:税込み)
45リットル袋(大袋)	50円
30リットル袋(中袋)	30円
20リットル袋(小袋)	20円
10リットル袋(特小袋)	10円

*スーパーやコンビニエンスストアなどで有料指定袋を購入していただけます。有料指定袋は、各10枚単位で販売します。

減量効果

●有料化によるごみの減量効果

「家庭ごみ有料化制度」及び平成20年12月からの「ぞつがみ回収」や「古紙・古布・ペットボトルの月2回収集」等によるごみ収集量や資源化物収集量の変化は次のとおりです。
可燃ごみ・不燃ごみが減り、資源化物が増えていることがわかります。



出典：岡山市資料

家庭ごみ有料化に伴う手数料及びその用途(平成21年度)について

家庭系ごみ処理手数料	869,908	100%
------------	---------	------

種類	枚数	金額	割合
45リットル袋	8,362,000	418,100,000	29%
30リットル袋	8,902,500	267,075,000	31%
20リットル袋	6,888,500	137,770,000	24%
10リットル袋	4,700,000	47,000,000	16%

区分	事業内容	金額
家庭系ごみ有料化経費	指定ごみ袋製造経費	250,640
	小売店販売手数料	73,075
	指定ごみ袋配送経費ほか	39,984
	小計	363,699

42%

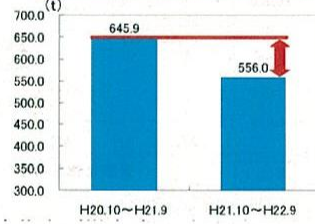
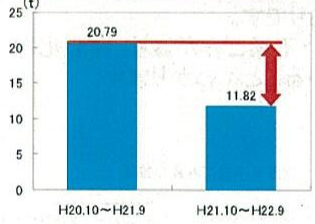
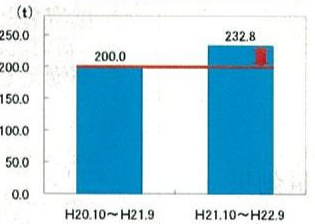
区分	事業内容	金額
周知・広報・啓発	環境学習用パンフレット・DVD作成等	2,746
	小計	2,746
不法投棄・不適正排出対策	ステーション管理支援報奨金	82,735
	ごみステーション監視・指導経費	16,694
	ごみステーション設置補助ほか	12,156
	小計	111,585
資源化対策推進	西部リサイクルプラザ整備関連経費	99,622
	資源化物2回収集経費	36,509
	生ごみ処理容器購入補助ほか	33,830
	小計	169,961
地球温暖化対策推進	省エネルギー推進事業	8,822
	電気自動車導入事業	1,309
	地球温暖化対策地域推進計画等策定事業	7,513
	自然エネルギー普及事業	100,798
	住宅用太陽光発電システム整備補助	83,357
	庁舎等太陽光発電システム整備事業	17,441
	もったいない運動推進事業	805
ライトダウンキャンペーン事業	805	
小計	110,425	
環境保全推進	環境保全行動計画推進事業	17
	小計	17
合計		394,734

基金積立金充当	一般廃棄物処理施設整備基金積立金充当額	111,475
---------	---------------------	---------

13%

45%

6. 熊本市

人口 (H22)	73万人	有料化開始時期	平成21年10月	方式	単純従量制
有料制対象ごみ	燃やすごみ、埋立ごみ				
袋の価格	[1枚当たりの価格]	燃やすごみ (袋は半透明、文字は青)		埋立ごみ (袋は透明、文字は緑)	
	大袋 (45リットル相当)	35円		35円	
	中袋 (30リットル相当)	23円		23円	
	小袋 (15リットル相当)	12円		12円	
	特小袋 (5リットル相当)	4円		なし	
減量効果	(参考)家庭ごみ有料化後のごみ収集量				
	<p>平成21年10月に実施した家庭ごみ有料化後のごみ収集量を見ると、「燃やすごみ」及び「埋立ごみ」ともに減っています。また、「紙」の収集量が増加しており、ごみ減量とリサイクル推進が進んでいることが窺えます。</p> <p>※有料化後1年間(H21年10月～H22年9月)のごみ量(収集1日当たり平均)の前年度同期比</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>燃やすごみ 13.9%減</p>  <p>H20.10～H21.9: 645.9 (t) H21.10～H22.9: 556.0 (t)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>埋立ごみ 43.1%減</p>  <p>H20.10～H21.9: 20.79 (t) H21.10～H22.9: 11.82 (t)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>紙 16.4%増</p>  <p>H20.10～H21.9: 200.0 (t) H21.10～H22.9: 232.8 (t)</p> </div> </div>				

4 家庭ごみ処理手数料の使途

家庭ごみ有料化(平成21年10月実施)によるごみ処理手数料の使途(平成21年度決算)は次のとおりです。

収入 7億2,188万円 ※家庭ごみ処理手数料721,801千円+廃食用油売却収入79千円

支出 7億2,188万円

①ごみ有料化関係経費(新規)

内容	指定ごみ袋の製造や流通など家庭ごみ有料化制度の運営に必要な経費です。
決算額	255,014千円

②乳幼児世帯等支援経費(新規)

内容	有料化に伴い経済的負担が特に増加する方々に対する支援として、指定ごみ袋の無料交付を行いました。
決算額	31,570千円

③プラスチック製容器包装リサイクル推進経費(新規)

内容	プラスチック製容器包装の分別収集の準備のために必要な経費です。
決算額	205千円

④生ごみ分別収集リサイクル推進経費(新規)

内容	燃やすごみの約半分を占める生ごみの堆肥化の可能性について検討を行うためのモデル事業を行いました。
決算額	1,213千円

⑤セメント原料化リサイクル推進経費(新規)

内容	ごみ焼却灰を有効利用するとともに扇田環境センターの更なる延命化を図るために、ごみ焼却灰のセメント原料化を行いました。
決算額	16,718千円

⑥ごみの発生抑制対策経費(新規)

内容	ごみの発生抑制を啓発するためのガイドブック(「グリーンコンシューマーになろう!」)を作成しました。
決算額	420千円

⑦電話相談「ごみ110番」設置経費(新規)

内容	ごみに関する電話相談窓口「ごみゼロコール」の運営経費です。
決算額	3,376千円

〔使途〕

有料化関係費(①～②)	40%	(総支出に占める割合)
リサイクル事業推進費(③～⑤、⑧、⑫の一部)	43%	
市民啓発費(⑥、⑦、⑨～⑪、⑫の一部)	9%	
市民活動支援(⑫の一部)	8%	
不法投棄対策(⑫の一部)	0%	

⑧資源物拠点回収推進経費(新規)

内容	「蛍光管」「使用済み天ぷら油」「乾燥生ごみ」「樹木」の拠点回収を開始しました。
決算額	7,446千円

⑨月めくりごみ収集カレンダー作成経費(拡充)

内容	家庭ごみ・資源収集カレンダーの補正チラシ等を作成しました。
決算額	2,176千円

⑩環境学習経費(拡充)

内容	ごみ問題や環境問題に関する環境学習に使用する副読本などを作成しました。
決算額	4,169千円

⑪ごみ減量啓発経費(拡充)

内容	リーフレットの印刷や新聞への広告掲載など、ごみ減量・リサイクル推進に関する市民への啓発を行いました。
決算額	53,584千円

⑫その他の財源充当

内容	リサイクル推進経費(集団回収助成拡充、保管庫設置費助成等)
決算額	24,600千円

内容	きれいな街づくり推進経費(ごみステーション管理支援、ルール違反ごみ収集経費等)
決算額	34,729千円

内容	産業廃棄物適正処理推進経費(不法投棄巡視員報酬、不法投棄看板作成等)
決算額	800千円

内容	環境にやさしい店推進経費(レジ袋削減啓発ポスター作成等)
決算額	565千円

内容	資源物再資源化事業推進経費(資源物の収集、選別、再資源化等)
決算額	285,295千円

7. 鳥取市

人口 (H22)	20万人	有料化開始時期	平成19年10月	方式	単純従量制																			
有料制対象ごみ	可燃ごみ、プラスチックごみ																							
袋の価格	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品目</th> <th colspan="4">(消費税込)</th> </tr> <tr> <th>大 (45リットル)</th> <th>中 (30リットル)</th> <th>小20 (リットル)</th> <th>極小 (10リットル)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃ごみ</td> <td>60円/1枚 600円/1セット</td> <td>40円/1枚 400円/1セット</td> <td>30円/1枚 300円/1セット</td> <td>15円/1枚 150円/1セット</td> </tr> <tr> <td>プラスチックごみ</td> <td>30円/1枚 300円/1セット</td> <td>20円/1枚 200円/1セット</td> <td>15円/1枚 150円/1セット</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※有料指定袋は、10枚1セットで販売します。</p>					品目	(消費税込)				大 (45リットル)	中 (30リットル)	小20 (リットル)	極小 (10リットル)	可燃ごみ	60円/1枚 600円/1セット	40円/1枚 400円/1セット	30円/1枚 300円/1セット	15円/1枚 150円/1セット	プラスチックごみ	30円/1枚 300円/1セット	20円/1枚 200円/1セット	15円/1枚 150円/1セット	
品目	(消費税込)																							
	大 (45リットル)	中 (30リットル)	小20 (リットル)	極小 (10リットル)																				
可燃ごみ	60円/1枚 600円/1セット	40円/1枚 400円/1セット	30円/1枚 300円/1セット	15円/1枚 150円/1セット																				
プラスチックごみ	30円/1枚 300円/1セット	20円/1枚 200円/1セット	15円/1枚 150円/1セット																					
減量効果	<p>(1)可燃ごみの搬入実績 有料化の前年 (H18.10.1~H19.9.30) と有料化後 (H19.10.1~H20.9.30) を比較すると、有料化前年の年間合計は37,042t、有料化後の年間合計は30,591tで、比較の差は6,451t、率にすると17.4%の減となっています。</p> <p>(2)プラスチックごみの搬入実績 有料化の前年 (H18.10.1~H19.9.30) と有料化後 (H19.10.1~H20.9.30) を比較すると、有料化前年の年間合計は2,743t、有料化後は2,397tで、比較の差は346t、率にすると12.6%の減となっています。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>【可燃ごみ排出量の推移(前年同時期との比較)】</p> </div> <div> <p>【プラスチックごみ排出量の推移(前年同時期との比較)】</p> </div> </div> <p>出典：鳥取市資料</p>																							

平成19年度ごみ処理手数料(指定ごみ袋代)の用途

【収入】

2億7400万円 100%

【主な支出】(制度導入のための経費に多く充てています)

用途	金額
家庭ごみ有料化事業 ・指定ごみ袋製造費 ・袋の保管配送業務委託料 ・冊子・チラシなどの広報費 ・ごみ袋取扱販売委託料など	1億9220万円
再資源化等推進団体奨励金	2563万円
資源ごみ収集経費	5032万円
生ごみ処理機器購入補助など	585万円

70%

30%

8. 米子市

人口 (H22)	15万人	有料化開始時期	平成19年4月	方式	単純従量制
有料制対象ごみ	可燃ごみ、不燃ごみ				
袋の価格	<p>「可燃ごみ専用」の袋と、「不燃ごみ専用」の袋があります。 価格はそれぞれ</p> <p>大袋(40リットル) … 1枚60円 中袋(20リットル) … 1枚30円 小袋(10リットル) … 1枚15円</p>				
減量効果	<p>●ごみ排出量12%削減 (H20/H17の排出量の比較)</p> <p>平成19年4月から平成20年3月までの全体のごみ排出量は、60千トンでした。これは、平成18年度と比べて約20パーセント、平成17年度と比べて約12パーセントの減少です。</p> <p>ごみ排出量のうつつりかわり</p> <p>出典：米子市資料</p>				



ごみに関する収入と支出

平成21年度のごみに関する収入は約7億2千万円、支出は約23億6千万円となりました。

主な収入

- 指定ごみ袋と収集シールの販売代金であるごみ処理手数料 3億1,499万円
- クリーンセンターへの直接搬入ごみの処理手数料 3億6,661万円
- 余熱発電電力収入 1,972万円
クリーンセンターでは、ごみを燃焼したときに発生する熱を有効利用し、発電などを行ない、施設の電力をまかなうとともに、余った電力を電力会社に売却しています。
- 溶融スラグ・メタル売却収入 94万円
クリーンセンターで焼却灰を溶融してできる溶融スラグと、副産物である溶融メタルの売り払い収入です。
- 可燃物処理費負担金 2,652万円
日吉津村が、米子市クリーンセンターに可燃ごみを搬入しているため、その負担金をもっています。
- ごみ分別収集カレンダーなどの広告料収入 42万円
- 一般廃棄物収集運搬許可申請手数料 34万円

主な支出

- 指定ごみ袋と収集シールの製造配送委託料 2,723万円
- 指定ごみ袋等取扱い店への販売委託料 1,999万円
- 指定ごみ袋等取扱い自治会への地域環境美化推進奨励金 102万円
- 負担軽減措置用指定ごみ袋の購入費用 1,457万円

- 資源ごみ回収運動推進団体への奨励金 404万円
- ボランティア袋の製造委託料 31万円
- ごみ分別収集カレンダーの作成・配布費用 161万円
- ごみ情報誌「よなごみ通信」の作成・配布費用 76万円
- 生ごみ処理機等購入者への補助金 156万円
- 不法投棄防止啓発看板、監視カメラの製作・設置費用など 24万円
- 不法投棄対策に関する団体補助金 27万円
- 不法投棄監視員報酬 5万円
- 不法投棄物処理・処分業務の委託料 435万円
- 不法投棄監視用車両の維持管理費 84万円
- ごみ収集運搬業務の委託料 5億3,008万円
可燃ごみ、不燃ごみ、資源物などの収集運搬業務にかかる委託料です。
- 発泡スチロール等分別処理業務の委託料 194万円
- 有害ごみ処理・処分・搬出運搬業務委託料 787万円
- 不法投棄された家電4品目とパソコンの処理費用 72万円
- リサイクル推進員報償金 477万円
- リサイクル推進員活動用物品など 51万円
- クリーンセンター運搬業務の委託料や修繕費用など 10億7,813万円
- ごみ処理に係る職員人件費 約2億3千万円
- 鳥取県西部広域行政管理組合負担金のうちごみ処理に係る部分 約4億4千万円

★有料化による収支以外のごみ処理事業費の全体を示している。

9. 泉佐野市

人口 (H22)	10万人	有料化開始時期	平成18年4月	方式	単純従量制		
有料制対象ごみ	可燃ごみ						
袋の価格	市指定袋の種類						
	種類	セット内容		金額			
	500袋	1セット(10枚入り)		500円			
	200袋	1セット(10枚入り)		200円			
	100袋	1セット(10枚入り)		100円			
減量効果	●ごみ排出量14%削減 (H18/H17の排出量の比較)						
		H17	H18	H19	H20	H21	H22
	可燃ごみ(t)	54,226	46,754	46,151	42,942	42,869	42,136
	減量率	100	86.2	85.1	79.2	79.1	77.7
		有料化 導入 (4月)					
出典：泉佐野市資料							

平成21年度家庭系可燃ごみ有料化の収支詳細

歳入(市指定袋の収支:手数料)				
袋の種類	枚数(枚)	単価(円)	手数料額(円)	備考
500袋	1,343,610	50	67,180,500	
200袋	2,164,710	20	43,294,200	
100袋	588,350	10	5,883,500	
歳入合計			116,358,200	

歳出			
摘要		金額(円)	備考
有料化 実施 経費	1 市指定袋制作費	16,986,450	
	2 市指定袋取扱委託料等	8,418,557	
	3 市指定袋保管・配送委託料	2,879,112	
	4 市指定袋取扱関係事務経費	324,335	
	5 福祉の配慮無料給付分	9,440,000	
	小計	38,048,454	
ごみ 減量 化 推 進 経 費	6 かん・びん・ペットボトル本体、容器包装プラスチックの選別及び再資源化業務委託料	84,085,645	
	7 啓発経費(アニュアル・ポスター制作費)	2,758,050	
	8 生ごみ処理機購入助成金等	771,000	
	9 有価物集団回収及び廃棄物減量等推進活動報償費	2,410,000	
	10 人件費	14,954,650	
	11 廃棄物中継施設管理事業費	1,357,052	施設稼働はH20.4~
小計	106,336,397		
不法 投 棄 等 対 策 経 費	12 不法投棄対策等委託料	6,768,394	
	13 ボランティア袋制作費	122,062	
	14 啓発ポスター用パウチフィルム	166,400	
	15 現場用作業用具等	93,810	
	小計	7,150,666	
歳出合計		151,535,517	

10. 泉大津市

人口 (H22)	8万人	有料化開始時期	平成22年12月	方式	単純従量制																																																																																											
有料制対象ごみ	可燃ごみ																																																																																															
袋の価格	<table border="1"> <caption>ごみ袋の種類と金額</caption> <thead> <tr> <th>大きさ</th> <th>1枚あたりの金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15リットル指定袋</td> <td>15円</td> </tr> <tr> <td>30リットル指定袋</td> <td>30円</td> </tr> <tr> <td>45リットル指定袋</td> <td>45円</td> </tr> </tbody> </table> <p>注意:販売は、10枚単位となります。</p>					大きさ	1枚あたりの金額	15リットル指定袋	15円	30リットル指定袋	30円	45リットル指定袋	45円																																																																																			
大きさ	1枚あたりの金額																																																																																															
15リットル指定袋	15円																																																																																															
30リットル指定袋	30円																																																																																															
45リットル指定袋	45円																																																																																															
減量効果	<p>●ごみ排出量15%削減 (H22.3/H21.3の1カ月の排出量の比較)</p> <p>家庭から出る可燃ごみの推移 (H20年度-H22年度)</p> <p>(単位:トン)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">搬入量</td> <td>H20年度</td> <td>1,443</td> <td>1,468</td> <td>1,320</td> <td>1,415</td> <td>1,320</td> <td>1,394</td> <td>1,377</td> <td>1,247</td> <td>1,620</td> <td>1,305</td> <td>1,077</td> <td>1,333</td> <td>16,321</td> <td>1,360</td> </tr> <tr> <td>H21年度</td> <td>1,343</td> <td>1,350</td> <td>1,349</td> <td>1,193</td> <td>1,144</td> <td>1,127</td> <td>1,206</td> <td>1,141</td> <td>1,320</td> <td>1,086</td> <td>957</td> <td>1,159</td> <td>14,374</td> <td>1,198</td> </tr> <tr> <td>H22年度</td> <td>1,185</td> <td>1,216</td> <td>1,149</td> <td>1,160</td> <td>1,135</td> <td>1,041</td> <td>1,134</td> <td>1,375</td> <td>1,032</td> <td>934</td> <td>855</td> <td>989</td> <td>13,203</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>H20年度とH22年度の比較 増減率(%)</td> <td>-18%</td> <td>-17%</td> <td>-13%</td> <td>-18%</td> <td>-14%</td> <td>-25%</td> <td>-18%</td> <td>10%</td> <td>-36%</td> <td>-28%</td> <td>-21%</td> <td>-26%</td> <td></td> <td>-19%</td> </tr> <tr> <td>H21年度とH22年度の比較 増減率(%)</td> <td>-12%</td> <td>-10%</td> <td>-15%</td> <td>-3%</td> <td>-1%</td> <td>-8%</td> <td>-6%</td> <td>21%</td> <td>-22%</td> <td>-14%</td> <td>-11%</td> <td>-15%</td> <td></td> <td>-8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成22年度3月(平成23年3月)のデータは速報値です。確定数値ではありません。</p> <p>※平成21年7月から臨時ごみの処理手数料が大幅に値上げされている。 出典：泉大津市資料</p>					項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	搬入量	H20年度	1,443	1,468	1,320	1,415	1,320	1,394	1,377	1,247	1,620	1,305	1,077	1,333	16,321	1,360	H21年度	1,343	1,350	1,349	1,193	1,144	1,127	1,206	1,141	1,320	1,086	957	1,159	14,374	1,198	H22年度	1,185	1,216	1,149	1,160	1,135	1,041	1,134	1,375	1,032	934	855	989	13,203	1,100	H20年度とH22年度の比較 増減率(%)	-18%	-17%	-13%	-18%	-14%	-25%	-18%	10%	-36%	-28%	-21%	-26%		-19%	H21年度とH22年度の比較 増減率(%)	-12%	-10%	-15%	-3%	-1%	-8%	-6%	21%	-22%	-14%	-11%	-15%		-8%
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均																																																																																		
搬入量	H20年度	1,443	1,468	1,320	1,415	1,320	1,394	1,377	1,247	1,620	1,305	1,077	1,333	16,321	1,360																																																																																	
	H21年度	1,343	1,350	1,349	1,193	1,144	1,127	1,206	1,141	1,320	1,086	957	1,159	14,374	1,198																																																																																	
	H22年度	1,185	1,216	1,149	1,160	1,135	1,041	1,134	1,375	1,032	934	855	989	13,203	1,100																																																																																	
H20年度とH22年度の比較 増減率(%)	-18%	-17%	-13%	-18%	-14%	-25%	-18%	10%	-36%	-28%	-21%	-26%		-19%																																																																																		
H21年度とH22年度の比較 増減率(%)	-12%	-10%	-15%	-3%	-1%	-8%	-6%	21%	-22%	-14%	-11%	-15%		-8%																																																																																		

一般家庭ごみ有料化に伴う平成22年度の収支概要(見込)のお知らせ

平成22年12月から実施いたしました一般家庭ごみ有料化に伴う平成22年度の収支概要(見込)をお知らせします。

【歳入の概要】

一般家庭ごみ収集手数料(市指定袋の収入)は42,330千円でした。

【歳出の概要】

指定袋等作成経費が19,822千円、ごみの分別大辞典等、ごみ有料化周知に係る経費が3,617千円、一般家庭ごみ手数料徴収事務委託料が5,411千円、指定ごみ袋管理配送業務、お試し袋関係経費が3,874千円で、合計32,724千円の歳出がありました。

歳入(指定袋の収入)－歳出(必要経費)の額は、9,606千円で、この金額は地域環境基金に積み立て、環境施策に活用します。

11. 恵庭市

人口 (H22)	7万人	有料化開始時期	平成 22 年 4 月	方式	単純従量制																																			
有料制対象ごみ	燃やせるごみ、燃やせないごみ (キケンごみ含む)																																							
袋の価格	容量種	5ℓ袋	10ℓ袋	20ℓ袋	40ℓ袋																																			
	1枚の値段	10円	20円	40円	80円																																			
	1セット 5枚の値段	50円	100円	200円	400円																																			
減量効果	<p>●ごみ排出量全体 20%削減 (H22 (8カ月) / H21 (8カ月) の排出量の比較)</p> <p>トン ※ () は合計 □ 可燃 □ 不燃 ■ 資源</p> <table border="1"> <caption>ごみ排出量比較 (トン)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>可燃</th> <th>不燃</th> <th>資源</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H13</td> <td>8,441</td> <td>3,035</td> <td>780</td> <td>12,256</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>7,606</td> <td>3,386</td> <td>1,290</td> <td>12,282</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>7,463</td> <td>2,063</td> <td>2,129</td> <td>11,655</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>7,383</td> <td>1,917</td> <td>2,160</td> <td>11,460</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>7,228</td> <td>2,265</td> <td>2,034</td> <td>11,527</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>6,164</td> <td>1,936</td> <td>1,170</td> <td>9,270</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：恵庭市資料</p>					年度	可燃	不燃	資源	合計	H13	8,441	3,035	780	12,256	H18	7,606	3,386	1,290	12,282	H19	7,463	2,063	2,129	11,655	H20	7,383	1,917	2,160	11,460	H21	7,228	2,265	2,034	11,527	H22	6,164	1,936	1,170	9,270
	年度	可燃	不燃	資源	合計																																			
H13	8,441	3,035	780	12,256																																				
H18	7,606	3,386	1,290	12,282																																				
H19	7,463	2,063	2,129	11,655																																				
H20	7,383	1,917	2,160	11,460																																				
H21	7,228	2,265	2,034	11,527																																				
H22	6,164	1,936	1,170	9,270																																				

●**有料化による収入と支出**
 家庭ごみ有料化の実施により、市民の皆さんには有料指定ごみ袋などを購入し、ごみを出していただくことになりました。この代金が市民の皆さんに一部負担していただくごみ処理手数料として、市の新たな収入に加わっています。そこで、今年度（予算）の収入と支出の内訳をお知らせいたします。

収入 242,555

- 市税補てん分 416,230
- 再商品化拠出金 10,000
- 資源回収廃払金 27,335
- 事業系処分手数料 34,878
- H22 有料化収入 170,242

実績
4月～11月 166,319

支出 658,785

- 一般事務費 1,457
- 有料化経費 56,362
- 最終処分経費 145,526
- 生ごみ処理経費 121,528
- リサイクルセンター経費 87,720
- 収集運搬経費 246,192

※単位 千円

有料化による収入も増えましたが、足りないのが税金補っています！

●**新たな収入……170,242千円**

- 家庭廃棄物処理手数料（有料指定ごみ袋およびごみ処理券の販売代金） 165,525千円
- ごみ処理場への直接搬入分家庭廃棄物処理手数料（計量 70円/10kg） 4,102千円
- 有料指定ごみ袋外袋袋広告掲載料 615千円

※この収入により、今までごみ処理経費に充てられていた市税を他の事業に振り替えることが可能になりました

●**新たな支出……56,362千円**
 家庭ごみ有料化による新たにかかる経費で、その財源を「有料化による収入」としているもの

- 有料指定ごみ袋・ごみ処理券・ボランティア袋の製造委託 34,130千円
- ごみ袋製造検査 126千円
- 有料指定ごみ袋等の保管・配送・収納管理等委託 5,855千円
- 有料指定ごみ袋等取扱手数料 13,383千円
- 市民アンケート調査無作為抽出委託 95千円
- 有料指定ごみ袋等取扱店用のぼり作製 114千円
- 有料指定ごみ袋等取扱店用ステッカー作製 78千円
- 情報誌「ecoる」の製作 383千円
- 集合住宅ごみ等優良保管場所認定看板作製 126千円
- 不法投棄防止のぼり作製 821千円
- 不法投棄防止看板ポスター作製 476千円
- 不法投棄防止看板作製材料費 268千円
- 環境美化等推進員パトロール用ベスト作製 221千円
- 不法投棄防止ポスター 74千円
- ごみ減量・リサイクル地区懇談会等会場借上料 43千円
- アンケートおよび環境美化推進員活動報告郵送料 160千円
- アンケート返信用封筒 9千円

家庭ごみ有料化に伴う新たな収入および支出を差し引いた残りについては、ごみ処理経費の中に占める割合の高い収集運搬経費へ充当されます。

★**有料化による収入**
 170,362千円（予算）

★**有料化の収入を財源とした新たな事業への支出**
 56,362千円（予算）

★**残りの財源**
 →収集運搬経費へ充当

●**今月の焦点に関する問合せ先**
廃棄物対策課
 ☎ 33-3131 内線 1138

家庭ごみ有料化で20%のごみが減量できたのは大きな成果だと思います。市民の皆さまの「ごみを減らす」という意識が、ごみ減量に大きくつながりました。もっともっと、ごみを減らして住みよくなりますようにするために、これからもご協力をお願いします。

廃棄物対策課
 主査 野村 孝治